

令和5年度 自己評価反省

●保護者からの意見に対して

・事業者の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているかよく見ていないのでわからない。

→いつでも施設見学に来てください。

ドアが手動で開けられるので、少し心配です。

→現在は対一で支援に入っているため、見守りを必ずしています。

今後、危険回避の為の対策を考えていきます。

・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか

交流について、あまり把握できていません。

→園と併用している利用者さんが多く、普段から園で他児と交流できている状況である為、現在は事業所で園と一緒に活動するという形はとっていません。関係機関との会議や送迎時などに、園の先生方からご利用児と他児の交流の様子等を確認するようにしています。

・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか

把握できていません。保護者同士の交流があると良いと思います。

→コロナ禍でできていませんでしたが、来月(11月)開催する予定です。

・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。

対応をされていると思うのですが、内容を把握していません。

→緊急連絡先を一つにまとめ、保管をしています。避難先から連絡が出来るようにしています。

緊急時対応マニュアルの周知、説明はまだない。

→感染症対応マニュアルとしては、その都度対応をし、保護者へお伝えしていますが、マニュアルはお伝えができていないので、周知ができるよう努めていっていきます。

・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。

わかりません。

→災害時の避難場所としては、おたよりに一度掲載しています。今後は、避難訓練等の様子はおたよりに掲載し、お知らせしようと思います。

・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか療育の内容を伝えてくれない時もあった。

→保護者の方とのコミュニケーションを日頃も意識し、その日の療育内容を伝えられるように気をつけます。

・保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか

もう少し面談等、話す機会があれば良い。

→貴重な意見、ありがとうございます。いつでも見学や面談は可能なので、お知らせください。

また、面談の機会をつくっていきます。

●職員の反省として

・事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

→バリアフリー化としては、トイレのドアの開閉の向きや広さの改善が必要である為、近いうちに改善をしていく。

・業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

→会議は行っているが、時間帯により会議に参加できない職員もいる為、全員が情報の把握、対応ができるようしっかりと申し送りをし、情報共有おこなっていく。

・保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

→送迎を利用されている方とは、なかなか保護者の方と関わりが少ない為、今後も連絡帳や電話等で密に情報共有を行っていく。

・児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか

→ガイドラインの把握が不十分の為、再度確認をおこなう。入職して把握できていない部分があるので、これから勉強していきたい。

・活動プログラムの立案をチームで行っているか

→活動を職員間で話し合いながら立案している。しかし、特定の職員が立案していることもある為、職員全員で立案できるよう、会議の時間の中で話し合いをしていく。

・父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

→(放課後)現在は開催できていない状態だが、近いうちに開催できる準備をしていきたい。

(児発)コロナ禍でできていなかったが、11月に開催する予定である。